



↓今年度最優秀賞を受賞した3年2組の皆さんによる合唱



響く歌声のハーモニー

10月31日(金)、板倉中学校校内合唱コンクールが板倉中学校体育館で開催されました。今年度は『明日に響け、絆の音色、歌能声(かのうせい)は無限大!!』というスローガンを掲げ、力の入った熱演が続きました。合唱コンクールの実行委員長を務めた飯塚涼真さん(大字板倉)は「朝や放課後ひたすら練習に取り組んだ結果が出てよかった。コンクール自体も盛り上がりました」と話しました。

↓栗原町長、野中議長、鈴木教育長によりタイムカプセル開封



30年の眠りから目覚め

11月9日(日)、海洋センター駐車場でタイムカプセル掘り起こし&開封式が開催されました。このタイムカプセルは昭和61年2月5日、町制施行30周年記念事業の一つとして、中央公民館西側緑地帯に埋設されました。式に出席した野中嘉之町議会議長は「埋設した当時を思い出し、大変感慨深い。思い出の詰まったものなので、関係者にお届けしたい」と話しました。

地域防災力を高める

10月29日(水)、西小学校4年生を対象に川の川水防センターで水防学校が開催されました。児童たちは、利根川上流河川事務所と板倉消防署の協力で、日本の川の特徴や利根川の歴史などを学びました。また、降雨体験車による降雨体験やビニール袋に水を入れて「土のう」の代わりとする「水のう」を使って、簡易水防工法のやり方を学びました。



↑万が一のときには水のうを使って家に水が入るのを防ぎます

地元のおいしいお米で激励

11月5日(水)、東洋大学板倉キャンパスでJA邑楽館林青年部板倉支部が同大体育会陸上競技部女子長距離部門とサッカー女子部に板倉町産新米コシヒカリ360kgを贈りました。贈呈式で小林貞幸支部長は「地元のおいしいお米を食べて、一生懸命練習し、大会に向けて頑張ってもらいたい」と選手を激励しました。



↑東洋大学板倉運動部の皆さんにお米が贈られました

↓高橋文化協会会長から文化協会功労者表彰を受けて、謝辞を述べる小暮久雄さん



文化・芸術の秋

10月25日(土)、第35回板倉町民文化祭が中央公民館で開催されました。式典では、長年町の文化協会会長を務められた小暮久雄さんが文化協会功労者表彰を受賞されました。続いて文化の面で優秀な成績をおさめたかたに文化功績者表彰が行われました。ステージでは、日頃の練習の成果を発揮したさまざまなジャンルの発表が行われました。

↓特別出演の西小学校の児童たちはドレミの歌を英語で披露



↑稲妻太鼓愛好会の新人さんは、この日初舞台を踏みました

↓文化祭のオープニングを飾った板倉中学校バンド部



↑特別出演の板倉保育園の園児たちはフォークダンスを披露